

東久留米市放課後子供教室【東久留米市】

活動場所	学校内	学校外
	○	
開催日数	245日／年間	
参加人数	27.5人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム活動型
		○
学習活動の特徴	自主学習	学習プログラム
学童クラブとの連携	一体型	連携型
	○	

■主な活動場所

体育館

■開催日

月2回～3回程度 給食がある日の放課後

■参加対象

在籍する1年生から6年生

■申込み手続き

インターネットによる事前申し込み

活動紹介

●運動遊びプログラムの実施

遊びを通じて子どもたちの「身体運動の発達」「認知的な発達（思考力・判断力・表現力）」「情緒・社会性の発達（学びに向かう力・人間力）」を育み、主体性を引き出すプログラムを行っています。

●地域住民・企業・団体との交流活動の実施

交流活動として、市内企業による「水辺の安全教育」としてキャスティングの体験学習①、本市スポーツ推進委員によるポッチャ体験②、文化協会加盟団体による演芸の体験学習③などを行いました。



①キャスティング体験



②ポッチャ体験教室（競技体験）



③南京玉すだれ（しだれ柳）

コーディネーターや地域の方々などの参加について

■採用・募集 地域コーディネーター、協働活動支援員などスタッフは事業者へ委託

■配置人数 協働活動支援員2名以上、協働活動サポーター1名以上を配置

■運営体制 運営委員会で検討された内容に基づき、地域コーディネーター、学校関係者、学童保育所従事者による運営協議会にて連携・調整を行い実施している。また、協働活動サポーターには地域住民であるシルバー人材センター会員を配置している。

東久留米市の取組

■全教室数 12教室（市内全小学校に設置）

■事業目的 放課後において子供たちの安心、安全な居場所で生涯学習活動の場を提供する。

■事業の成果等 運動遊びプログラムにより学年の異なる子供達の交流や、様々な年代の大人との関わりから協調性・主体性を育てている。また、地域住民・企業との交流活動として、地域企業による水辺の安全教育、本市スポーツ推進委員によるポッチャ体験、地域団体による伝統文化等の鑑賞や体験、シルバー人材センターの協力による工作（折り紙）体験などを行った。